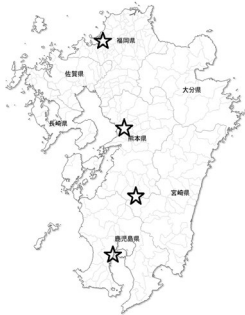


九州正教会だより

第41号



(人吉・鹿児島・熊本・福岡)

2023年2月1日発行

発行人：司祭グリゴリイ水野 宏

〒868-0081 熊本県人吉市上林町979-5 人吉司祭館

TEL / FAX 0966-24-7861

mail ocj.kyushu@gmail.com

ウェブサイト <https://www.ocj-kyushu.com/>



教会は平和のためにある

司祭グリゴリイ 水野 宏

昨年2月24日にロシア軍がウクライナに侵攻してから、間もなく1年が経とうとしています。私は東京大空襲の日の3月10日に、教会は特定の国家に関与せず、戦争に反対し、平和を祈り続けるとの内容の文章を九州管区のウェブサイトに掲載しました。戦争が終わって平和が戻れば削除するつもりでしたが、未だにできないのが残念です。

開戦1年にあたり、一部を抜粋して掲載しますので、私たちは戦争をどう理解し、どうあるべきなのか、共に考えていただければ幸いです。(全文はウェブサイト参照)

聖書の中でキリストは「剣を鞘に納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる」(マタイ26:52)と言っています。暴力と恫喝で他者を屈服させる行いはキリスト教の教えにおいて断じて認められません。いわんや戦争はその最たるものです。よってわたしたちの教会はすべての暴力と破壊、とりわけいかなる戦争にも断固反対します。

この度のロシアのウクライナへの侵攻は、わたしたちの教会と東方正教の信仰を同じくするロシアの人々とウクライナの人々との戦争であり、日本在住の両国出身者が集う教会として悲しく思うところです。

一部の指導者によって引き起こされたこの戦争は、既に述べたようにキリストの教えと相容れない暴挙であり、それで苦難を強いられるのは罪なき市民です。

全ての人間が等しく神に造られ、いのちを与えられた兄弟姉妹だと信じる以上、一人ひとりの人間のいのちも尊重されなくてはなりません。従って、教会も国家の利益のためではなく、一人ひとりの人間の救いのために存在しているのです。

わたしたちは教会の使命として、ウクライナだけでなく、全世界で起きている戦争と人権侵害に苦しむ人々に心を留め、平和が実現するよう祈り続けます。